

入試分析 英語

【主な特徴】

- ① 英作問題以外の記述問題が消滅。設問数・配点は昨年と変わらず。時間配分がカギ。
- ② 問6以降の40点が出来を左右するのは例年通り。長文に対するスキルと忍耐力が求められる。

【出題形式】

問1:リスニング

難解な設問は見当たらない。(ウ)No2 はリスニングを聞かなくても解ける。

問2:会話文中の適語選択★新形式★

従来の単語を記述する形式から単語を選択する形式に変化。選ぶ語句は respect, experience, different。会話の内容も平易なので確実に正解したい。

問3:適語(語句)選択

主語を見極めて適切な動詞を選択する問題は頻出。他は最上級、関係代名詞、現在完了進行形からの基礎的な出題。

問4:整序英作文

(ア)受動態、(イ)不定詞は平易だが(ウ)は間接疑問文にするか「疑問詞+不定詞」にするかで迷う。(エ)は指導要領の変更に伴い仮定法が初登場。「もっと上手に演奏できたらなあ」という意味の英文を作る。難問。

問5:イラスト英作文

今年も1題。会話の流れから「どのくらいの時間がかかりましたか」を表す英文を作る。take を用いた構文を覚えていないと書くのは難しいだろう。

問6:資料活用読解

これまで1つだったグラフにチラシが加わり資料が2つに。空所穴埋めが最後文にあり、内容一致も最後の2つに固められるなど速解が使えない仕様。タイムロスした生徒も多いはず。

問7:図表読解

割引きの計算と予定の計画に関する基本問題。「〇円の〇%引き」の計算は今のうちに筆算できるようにしておこう。

問8:長文読解(対話文)

英文の量が昨年の約70行から約60行へと減ったことに加え、どの設問も平易。ゆとりをもってここまでたどり着けていれば高得点が狙えるが、問6で手間取ってしまうと痛い。

実際の問題にチャレンジ! 問3 適語選択問題

次の(ア)~(エ)の文の()の中に入れるのに最も適するものを、あとの1~4の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を書きなさい。

(ア) One of the boys you met at the park yesterday () my brother.

1. am 2. is 3. are 4. were

(ア)この分の主語は…?

(イ) Which school event do you like ()?

1. good 2. well 3. better than 4. the best

(ウ) This is the school which () in 1980.

1. is building 2. built 3. was built 4. were building

(エ) I have been reading this book () 10 o'clock this morning.

1. at 2. before 3. for 4. since

(ウ)build は「~を建てる」。先行詞は school なので…?

(エ)現在完了進行形は現在完了の一種。恐れることはありません。

《解答》(ア)2 (イ)4 (ウ)3 (エ)4

【新中2・新中3生へ】

記述問題が英作のみになったとはいえ、難易度は例年通り高いまま。今年は問題による難易度の差が激しいことと、問6の“沼化(最後まで読まないで終われない)”が特徴的。最後の問8が長文では最も易しかったため、手際よく問8で確実に点が取れた生徒とそうでない生徒で10点以上の差はつくだろう。「クラウドファンディング」「オンライン」など時代に合わせた語句も増えてきている点もポイント。